

令和2年度 第1回 石垣市地域創生推進会議 議事録

1. 開催概要

日時	令和2年11月12日(木) 13:30~15:00
場所	石垣市教育委員会 2階会議室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員紹介 3. 委員長及び副委員長の選出 4. 委員長あいさつ 5. 地域創生総合戦略の概要と策定スケジュールについて 6. 第1期石垣市地域創生総合戦略の総評について(報告) 7. 第2期人口ビジョン及び総合戦略(骨子案)について 8. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 総合戦略(基本目標)について (2) 総合戦略(主な施策)について 9. 事務連絡 10. 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1: 石垣市地域創生推進会議設置要綱 ・ 資料2: 委員名簿 ・ 資料3: 第2期石垣市地域創生総合戦略の策定について(諮問) ・ 資料4: 地域創生総合戦略の概要 ・ 資料5: 第2期地域創生総合戦略策定スケジュール ・ 資料6: (第1期)石垣市地域総合戦略の総評 ・ 資料7: 第2期石垣市地域創生総合戦略(骨子) ・ 資料8: 第2期石垣市地域創生総合戦略(未定稿/R2.11.12時点)
出席者	<p>委員長 知念修 八重山市立保育園連盟園長会 会長</p> <p>副委員長 宮良永秀 元八重山教育事務所長</p> <p>石垣信治 沖縄県農業協同組合八重山地区本部 本部長</p> <p>新里裕樹 一般社団法人八重山青年会議所 理事長</p> <p>西仲野正巳 一般社団法人石垣市観光交流協会 事務局長</p> <p>前川義統 石垣市商工会 事務局長</p> <p>前村司 沖縄振興開発金融公庫八重山支店 支店長</p>
事務局	<p>多宇直之 石垣市企画政策課 課長</p> <p>慶田城悟 // 地域創生係 係長</p> <p>與世田亮太 // 地域創生係 主任</p> <p>小野耕輔 玉野総合コンサルタント (総合戦略策定支援業務受託事業者)</p>

2. 議事要旨

(1) 総合戦略（基本目標）について（質疑応答） 13:50～

委員長	基本目標1について、稼ぐ産業という表現が新しく出てきていますが、それについて事務局より説明があればお願いします。
事務局	稼ぐ産業という観点、今ある産業の質を上げること。付加価値を付けて稼ぐ力をつけていくという意味が含まれています。
委員長	基本目標2について、「包み込むまち」というのはどういう意味が込められているのか。
事務局	石垣市独自の豊かな自然、文化などを感じながら暮らせるまち、感じられる環境づくりをしたいという意味を込めている。
委員	「ひとが包み込む」というと、無理やりな感じがする。愛されるなどの言葉にしてもらいたい。
委員	「包み込む」というのは、抽象的で人によっては受け止め方が変わってくると思う。豊かな自然、文化を自分の身近なものとして「実感できる」、だからここで住みたい、頑張りたいとなるのではと思う。少し表現は再検討してほしい。
委員長	包み込むというのはやめて、「豊かな自然、文化に包まれ、人がここで暮らしたいと実感できるまち」というのはどうか。
全員	異議なし
委員	目標1の施策について、稼げる農林水産業という、今も稼いでいるので、「稼げる」という表現はなくして欲しい。「農林水産業の振興」にしてもらえないか。
委員長	国や県が稼げるというキーワードにしている。そのあたりについて、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	農林水産業については、今も頑張って稼いでいただいていると思っているが、もっと伸びていってほしいという思いがあり、稼げるという言葉を用いている。
委員	農業は儲かるものだけやるものではないと認識している。例えばマンゴーだけやるのではなく、お米や野菜があれば、遊休地などがでないように、さとうきびなども重要と思っている。「更なる農林水産業の振興」や「石垣市の食料自給率の向上」などはどうか。台風が来て流通が止まっても、野菜が島で獲れれば、ビタミン不足になることもない。内地に頼らなくても自給できるという点も大切。
委員長	石垣委員の意見を踏まえて、表現について再検討をお願いします。
事務局	基本目標3について、1期目の目標を引き継いでおりますが、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に加え、2期目では、「安心して子育てができる」という表現を入れております。
委員長	県でも待機児童の解消に取り組んでいる。石垣市は人気のあるまちなので、待機児童は多いが、解消に向けて保育園の環境は整備されつつある。待機児童を解消しても、本当に子育ての環境が整っているか、という部分も課題である。子育てと仕事の両立というのは総合的に取り組んでいく必要がある。
委員	沖縄県全体、石垣市でも離婚率が高い。離婚率の改善にも取り組んでいかないと子育て支援にもつながっていかないのではないか。離婚率の改善に関する施策も必要ではないか。
委員長	確かに離婚率や貧困率も子育てに関連する問題ではある。そのあたりも含めて子育て

	て環境というのを改善していく必要がある。
委員	目標については夢を掲げた表現がよい。離婚率等は改善策として施策に挙げた方がよい。離婚率などはキーワードに挙げてはどうか。
委員長	目標4については、横断的なものなのでこのままで問題ないかと思う。
全員	異議なし

(2) 総合戦略（主な施策）について（質疑応答） 14:20～

委員	1期を踏まえ、石垣市の「強み・特色」をどのようにとらえてきたのか。
事務局	基幹産業は観光ということで、この強みを活かして、他の分野にも幅広くつなげていく。地域経済を牽引していく産業は観光と考えている。今ある基幹産業である観光に力を入れることで、他の産業を引っ張っていくという形をとっていくものと考えている。
委員	同意見である。やはり観光産業が核になっている。では、観光客は何を魅力に観光にくるのか。全国でも観光地魅力度ランキングで沖縄県は3位。自然の魅力、人々の暮らしや文化が魅力とされている。直近はコロナの影響も受けているが、石垣市のこれまでの観光施策の方向性・取組みは適切であったと評価している。ただし、今後の石垣の観光産業は、コロナとともに取り組んでいかないといけない。強みを再確認しながら、コロナに対応しながらしっかりと観光振興に取り組んでいく必要がある。
委員	強み・特色というところで、「地域」という言葉を入れた方がよりわかりやすい。
委員長	「地の利」という言葉を入れてはどうか。
委員	地域や地の利などの言葉をつけた方がわかりやすい。
委員	「多彩な人材の受入・育成」は継続してほしい。
委員長	多様な働き方について、今回追加した意図を説明してほしい。
事務局	多様な働き方については、コロナの影響も考慮して、ワーケーションやダブルワークなども本市にも取り入れて、経済の活性化を図るという意味で入れている。
委員長	新しい観光コンテンツの創出について
委員	11月からは修学旅行が戻ってきている。正月までは部屋が足りていない。北海道が感染拡大しているなかで、石垣に戻ってくると観光業界でも言っている。その中で、事業者においては新たなコンテンツを作り出す余裕がない状況である。新たなコンテンツということ言えば、民族文化博物館がほしいという意見が多い。石垣の弱点は、雨である。雨天時に観光する場所がないので、ミンサー織や石垣島鍾乳洞ぐらいしかない。AR、VRを活かして、豊年祭やアンガマーなどが体感出来る箱（施設）があればという声が出ている。市出身の桃原さんが民族的な資料を多く持っている。その秘蔵品を貸していただき市民や観光客に披露するのも一つの手。観光客が一番に望んでくるのは海である。水族館はランニングコストに問題がある。また、安全・安心にマリレジャーが体験できる、反社会的勢力が入り込まないようなルール作りにも取り組んでいこうと観光業界では話が出ている。
委員長	施策は継続でよいか。この意見については、具体的な施策の中で触れてほしい。
委員	キーワードの修学旅行について、ぜひ取組みを推進してほしい。将来にわたってのリピーターのもとになる。量から質へ、体験型の土台にもなる。魅力ある石垣を体

	<p>験してもらい、大人になってから生涯を通して旅行してもらえらる。</p> <p>もう一つ、ゴルフ場は魅力的。行先の決め手となるコンテンツ。コロナの中で、屋外で体を動かすニーズが高まると思う。高齢者にも受けがよいと思う。この2点は強力に進めてほしい。</p>
委員	<p>ゴルフ場について、面白いデータがある。石垣が平均2泊なのに対して小浜島は平均3泊となっている。これはゴルフに行っていることが影響していると思われる。宮古島には5つもある。石垣でも環境アセスに注意して、観光交流協会としても推し進めていきたい。</p> <p>修学旅行について、コロナの影響で海外からの振り替えて石垣に来る学校が増えてきているが、石垣でシュノーケルをしてご飯食べる以外、何か修学できるコンテンツがないか、石垣の文化や歴史を学びたいという先生からの相談の電話がある。観光交流協会としても多くの学校に興味をもってもらえるような修学旅行用の文化体験のコンテンツを提案していきたい。</p>
委員長	結婚・出産の支援について、具体的な施策はあるか。
事務局	企画政策課では、新婚生活応援助成金や婚活パーティーなども行っている。沖縄県とも協力しながら、引き続き事業を行っていききたい。
委員	貧困率・離婚率は、沖縄県ワースト1位。施策には、何かしら含ませる必要があると思う。
委員長	何が原因なのかというところがわからないので難しいとは思いますが・・・。
委員	具体的な施策はないかもしれないが、方向性として何かしら文言を入れられたらと思う。
委員長	対策を打つにしても、何が原因かを検討する必要があるが、方向性として入れるというのはどうか。
委員	教職員は500人程度のうち、半数は沖縄本島から異動で来ている。石垣に来る人は、子育て、交通、医療の環境が異動の決め手になっている。異動希望の中には「安心」という要素が重要となっている。安心とはなにかを具体的にする必要はある。
委員長	子育ての安心についても、具体的な文言を入れた方がよい。
委員	農林水産業に「拠点産地作物」というキーワードを入れてほしい。拠点産地作物とは、肉用牛、パイン、オクラ、甘藷などがあります。
委員長	子育て支援課から具体的な案を出してもらった方がよい。
委員長	在宅勤務が進んでおり、保育所に来なくてもよいという対策をとった。石垣市は両立できたのではないかなと思う。コロナ対策については、保護者は役所の通知などを参考にしている。石垣市のコロナの対応は大変よかったと思う。
委員	石垣市のSDGsの具体的な取り組みはどのようなものがあるのか。
事務局	SDGsの取り組みは、今まさにスタートさせたところで、環境に関する「3R(リデュース、リユース、リサイクル)」の取り組みから広げていく予定です。
委員	未来を担う若者への投資について、宮古島市に宝塚医療大学が観光キャンパスを設ける話や琉球リハビリテーション学園を宮古島市が誘致している話が新聞に出ています。石垣市では、若者への投資や専門学校の誘致とか取り組みがあれば教えて頂きたい。
事務局	高等教育機関の誘致も検討した過去もありますが、本市の人口5万という規模にお

	<p>いては、なかなか難しい状況です。1期目でも実施した、資格取得などの学べる場を提供をしていきたい。</p>
委員	<p>石垣市には100人以上の教員を目指す人がいる。採用されても島を離れて那覇市で採用されるなど、結果として人材流出になる。八重山出身者は、八重山での採用を希望している人が多い。八重山出身者が就職し、家庭や子育てを島で行うことで、市の発展にも寄与する。教員資格取得の講座を継続していくことは大切なことであり、ぜひ継続して取り組んでほしい。</p>
委員長	<p>公庫としても教育に関するメニューなどあれば、計画に盛り込んでいけるとよい。何かそのようなメニューはないか。</p>
委員	<p>教育資金の支援（教育ローン）は行っている。子育て世代の方々は教育費用も負担になる。金利についても、離島は利率が優遇される特例制度もある。</p>
委員長	<p>知らない人もいるので、そのようなメニューはぜひPRしてほしい。</p>

以上